

とよなか

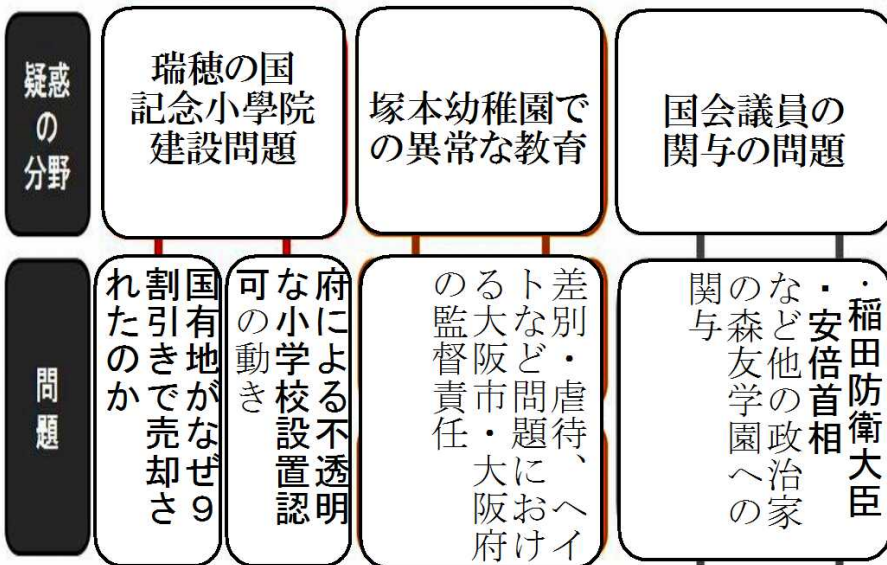
(部内資料)

教え子を再び戦場に送るな！ 2017年3月24日発行NO. 579

子ども達の豊か
な成長・発達の
ために皆で力を
合わせましょう！

ゴミじゃない 掘れば掘るほど問題噴出！

森友学園問題 疑惑の解明待ったなし



国政を大きく揺るがす大問題になってきている森友学園問題。

庄内・野田に「瑞穂の国記念小学院」という教育勅語を大切に、おかしな学校がつくられるということで、全教豊中は組合ニュースで16年6月、17年1月（NO565・575）とりあげてきました。

籠池氏の証人喚問（23日）で政府は幕引き・一件落着きをもっていいこうとしています。が、疑惑のすべての解明が必要です。



なぜか 黒塗りだった国有地売却額 今も非公表

2月8日 木村真市議（無所属）が国の非公表決定に対し、大阪地裁に提訴。ここから事態が動きました。朝日新聞が独自取材で売却金額（予想）を報道。2月10日 財務省は売却額を公表。

しかし、不開示処分取り消しを求める市民・国民の求めに国はいまだに不開示処分決定を見直す考えはないと表明（3月14日）しています。

4月27日に大阪地裁での公判が行われます。

なぜ私学認可が進んだ？ 審議会でも疑問噴出

「借入れがオーバーしている」「基本金はゼロ」14年から15年にかけて森友学園の小学校設置認可を協議した私学審議会。委員から疑問の声があいつぎました。

それでも府私学課は「府の職員がチェックし、適切」と後押ししています。松井府知事の関わりも明らかにする必要がありません。

塚本幼稚園の異常な教育

「安倍首相ガンバレ！」あの運動会宣誓。今、退園保護者が次々と語り始めています。

退園保護者を「不良元保護者」と非難する手紙や「邪な考えをもった在日韓国人・支那人」といった手紙を配布。犬の臭いがくさいと通園バックを勝手に捨てる。ウンチをおもらししたパンツをビニルにも包まず返される。数々の園の教育・経営の問題指摘を保護者は大阪府・府にしてきたにもかかわらず行政は放置？こうした監督責任も問われます。

市長にも10万円の寄付

浅利市長の資金管理団体が森友学園・籠池泰典理事長から14年10月に10万円の寄付を受けていた。11月に旧知の教育関係者を介して籠池理事長と面会「疑念を持たれるなら返還を検討したい」と話している。（毎日新聞2/27）

全国の若い仲間とつながって

東豊中小 北村 建一

2月4日から5日にかけて富山県の砺波ロイヤルホテルで開催された全国青年教職員学習交流集TANE!に参加してきました。大阪からは7名の青年教職員が参加しました。私は過去に4年間、このTANE!の実行委員をしておりまして、その後もずっと参加しています。

大阪の青年フェスタの全国版とも言えるこの集



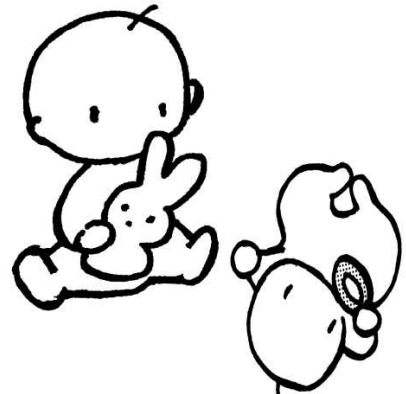
会はいつも多く青年教職員と日々の苦勞を話し分ち合うことのできるかけがえのない機会です。1日目は小学校の青年教職員のレポートを聞き、その後は交流会で楽しい時間を過ごすことができました。

2日目の講座は、今、問題となっているアクティブラーニングの講座を受け、佐賀県の青年教職員のアクティブラーニングを取り入れた授業の実態を知ることができました。2日間を通して全国の仲間と多くのことを学びました。

このTANE!は、全国に新たな仲間ができ、苦勞を共感することにより自分も頑張ろうという気持ちにさせてくれるとてもいい集会です。

私はもう青年教職員である年齢を超えてしまいましたが、いつまでも青年の気持ちは忘れずに努力していきたいと思えます。

育休の再延長はできない!



子育て・保育所問題が社会問題です。

育休を取る場合、一度延長すれば、再延長は基本できません。例外として保育所に入れない場合に再延長が認められます。「管理職から育休再延長できないことなど聞いたことない」という声を育休取得経験者から聞きます。全教豊中は市教委に育休の取り方について、管理職に周知徹底するように求めました。

全教豊中定期大会 新年度の体制と当面のとりくみを確認。

2月10日(金) 福祉会館
で定期大会を開催。
来年度の執行部の選出を行いました。

- 執行委員長 三輪 浩一(桜塚)
 - 副委員長 武藤 則子(東泉丘)
 - 書記長 廣嶋 由美子(箕輪)
 - 書記次長 藤木 桂子(大池)
 - 森田 志乃(11中)
 - 会計委員 長島知香(箕輪)
- 他に執行委員6名が選出されました。

「21世紀にふさわしい教育を 「部落問題学習」を考えるQ&A

大阪教育文化センター「部落問題解決と教育」研究会

Q11 「部落民宣言」をどう考えればよいですか。

A11 運動の持ち込みで、公教育では認められません。

「部落民」とは現在、部落解放同盟が使っていることばです。「自分は何者なのか」という自己同一性(アイデンティティ)にかかわる認識が必要で「部落差別を受ける可能性」(社会的立場)を自覚し、部落民として生きていくことを引き受けるという主体の確立の問題だそうです。

(参考) 「「部落解放同盟綱領」解説のための基本文書」2011

年注。
「部落差別を受ける可能性」という恐怖心を子どもたちに育てることは部落問題の到達点を踏まえていません。「部落民宣言」や「立場宣言」という形で部落解放同盟のこの考え方を教育に持ち込むのは、運動の持ち込みであり、公教育としては認めることができません。今の時代に「武士宣言」や「公家宣言」をする人がいたら、周りの人はびっくりするでしょう。旧身にこだわって生きていくことは封建制度にとらわれた生き方ではないでしょうか。